

## 1-1 建物概要

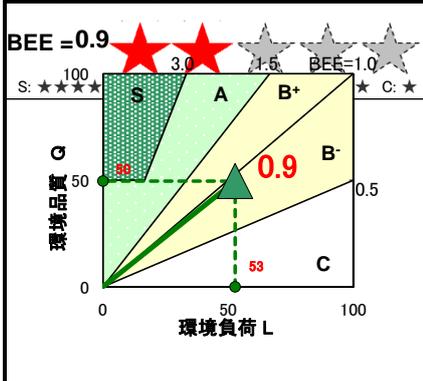
建物名称	(仮称)株式会社関東タイエットケック小田原工場新築工事
建設地	小田原市国府津字北桃重2880-6、前川字一本木109-3
用途地域	工業地域、防火指定なし
地域区分	6地域
建物用途	事務所、工場
竣工年	2018年3月 予定
敷地面積	16,534 m <sup>2</sup>
建築面積	6,349 m <sup>2</sup>
延床面積	7,470 m <sup>2</sup>

階数	地上2F
構造	S造
平均居住人員	300 人
年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2017年5月19日
作成者	大和ハウス工業(株)横浜支社建築一級建築士事務所
確認日	2017年5月19日
確認者	大和ハウス工業(株)横浜支社建築一級建築士事務所

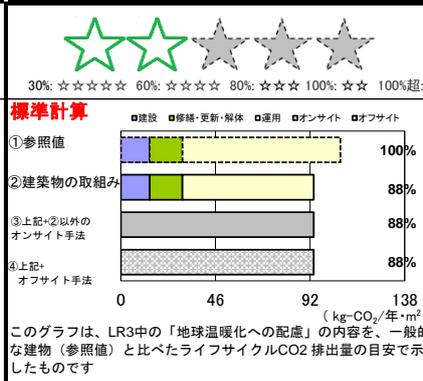
## 1-2 外観



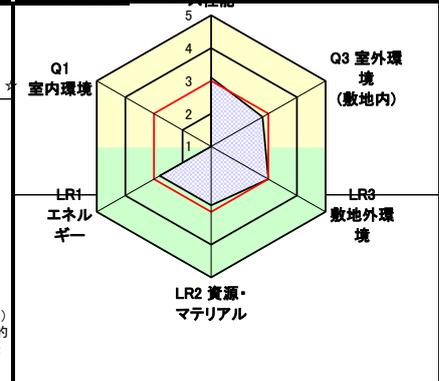
## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



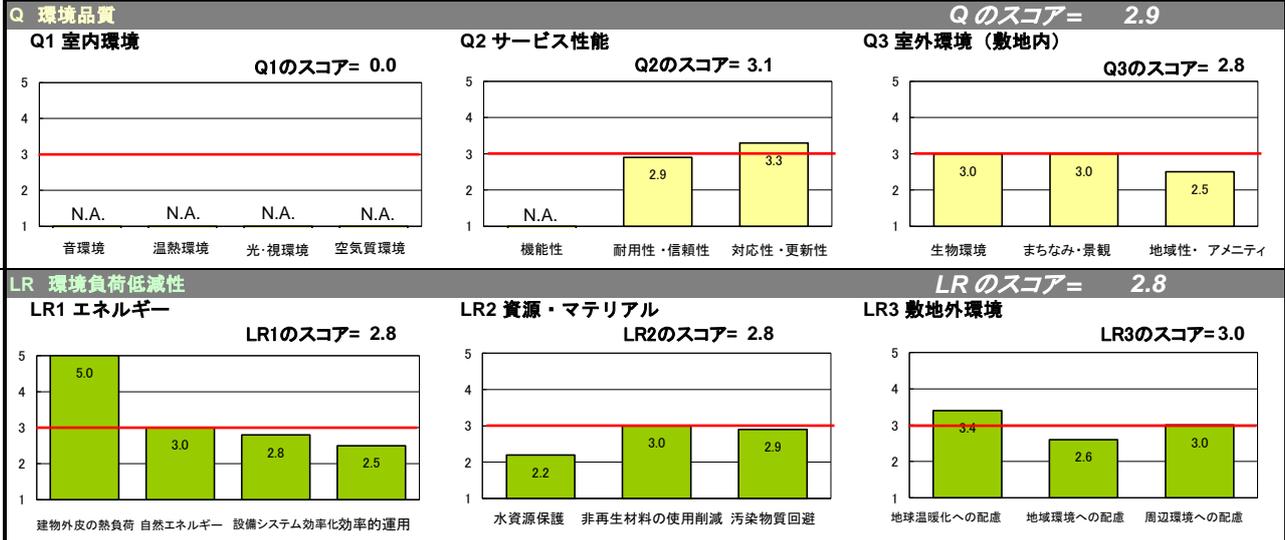
## 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



## 2-4 中項目の評価(バーチャート)



## 3 設計上の配慮事項

<p><b>総合</b></p> <p>敷地外周に緑地を設けて建物を中央に配置することにより、通行者に公共緑地を提供し圧迫感のない設計とします。また、室外機等は地上に置かず屋根上に設置し、地球温暖化防止につとめます。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>工場見学者のための通路を設けて、工場内の「見える化」を図り、常に開かれた施設を目指します。</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>事務所の照明器具はLEDを採用し、600lxの照度を確保する計画とします。</p> <p>また、建物内に喫煙室を設け分煙します。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>事務所天井高さは2.7m以上としてゆとりをもたせ、食堂や談話室を設けて従業員の憩いの場所とします。WCの仕上げには化粧ケイカル板やビニル床シート等のメンテナンスがしやすく耐用年数の長い建材を採用します。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>沿道に緑地帯を設けて、外周部には見通しのよいメッシュフェンスを採用することにより、外部に対しても緑豊かな空間を提供します。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>外壁断熱は硬質ウレタン吹付け(t=30)、屋根は二重折版(GW t=50+50)とします。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>内装材については積極的にF☆☆☆☆建材を採用します。また、内装はLGS下地として躯体との分別を容易にし、再利用可能なユニットとしてOAフロアを採用します。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>通勤に自動車、自転車の使用が想定されることから、駐輪・駐車台数は十分に確保します。また、管理車両とは導線を分けることにより、路上駐車、車両渋滞を防止します。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される